

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

令和7年8月1日（第3回）

目次

病院事務局 病院管理課	1
病院事務局 医事課	2
危機管理課	3
選挙管理委員会事務局	5
教育委員会 学校教育課	6
教育委員会 教職員研修センター	15
教育委員会 文化振興課	16
教育委員会 生涯学習課・青少年教育センター	17
市立図書館	22
建設部 道路建設課	24
建設部 道路管理課	25

推進調査票 記入例 (印刷時に文字切れが無いが、必ず確認してください)

推進調査票記入手順

- ①前年度に提出した調査票を最新化してください。(過去の事前質問や委員会で聞かれた内容は必ず調査票に反映してください)
データ保管場所：公開ライブラリ＞政策推進部＞地域自治課＞協働推進係＞男女共同参画＞R6推進調査票
 - ②【必須事項】令和6年度実施状況等について、黄色塗 部分の記入してください。
 - ③【任意事項】その他の部分で変更が生じる場合には赤字修正としてください。
(1 事業の目的、2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ、4 計画期間内の取組内容のうち令和7年度の実施予定内容、5 連携が必要な機関、6 新型コロナ以降の課題 において、過去の委員会の意見を反映するなどして内容に変更が生ずる場合)
- ※ (青色塗 部分) 基本理念、基本的施策、施策の方針及び施策の内容は、計画書記載事項のため、変更しないでください。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	地域自治課 協働推進係
担当者(電話)	蒲生 2282

基本理念	基本的施策	施策の方針	施策の内容
青塗 部分は、計画書に記載されている内容のため変更しないでください			
正を図る。			

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	A	A	
実績	A	A	A	A	

令和6年度の実績に対する評価を記入

取組状況(男女共同参画の視点から)

- A：計画どおり取り組みができた
- B：概ね計画どおり取り組みができた
- C：取り組みが不十分であった
- D：取り組みができなかった

実績(男女共同参画の視点から)

- A：想定以上の実績
- B：想定どおりの実績
- C：想定以下の実績

1 事業の目的

男女共同参画を進めるための啓発を推進する中で、公共性の高いメディアで表出される表現について点検指導し、性別による固定的な役割分担意識等を解消していくことで男女共同参画社会の実現を目指す。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>・地域自治課を経由して地区センター等に配架する「市が発行する文」</p> <p>【チェック項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女いずれかに偏った表現になっていないか ・性別によってイメージを固定化した表現になっていないか ・性別に関わらず対等な関係で描いているか ・性別で異なった表現を使っていないか ・女性をむやみに「アイキャッチャー」にしていないか <p>・令和5年度は2件、市が主催する「体操教室」のチラシの写真に写る複数の人物が「女性のみ」だったため、来年度から男性が参加している写真も掲載してもらうよう指導を行った。(当該教室は性別に関わらず誰もが参加できるイベント)</p>
評価／改善点	<p>・地域自治課にて確認できうる範囲にて確認を行った。</p> <p>・今後も必要に応じて国や県のガイドラインを周知、啓発する。</p>

令和6年度の男女共同参画に関わる取組実績を記入

令和6年度の取組に対する評価・課題等を記入

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
6年度	活動指標 各課への周知・指導	モニタリング指標	2	個別に指導した件数	<ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発に関するチラシの窓口配架 ・男女共同参画週間のPR ・県弁護士会による女性の悩みや多様性に関する無料電話法律相談の周知
	成果指標 修正した表現の数	モニタリング指標	なし	〇回/年度	

令和6年度の活動指標・成果指標の実数値及び実施済内容を記入

5 連携が必要な機関

1	広報課	庁内
2	関係各課	庁内
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないと考える。
------	---	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	病院管理課
担当者(電話)	福室 裕介(924-5100)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	7	16	女性活躍に理解ある事業所の取組推進	院内保育所「きらら」の運営を行うことにより、職員が安心して働き続ける環境を提供する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	8	17		

1 事業の目的

院内における男女共同参画を推進していくため、乳幼児を育てながら働く職員が安心して働けるようにすること。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

市の基準よりも安価な保育料によって運営し、乳幼児を持つ職員(医師、看護師など男女を問わず)の子育てを支援することで、働きやすい職場環境を提供していく。
また、夜間保育を行うことにより、保護者等が様々な勤務体系に対応でき、安心して働くことができる環境を作っていく。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	・院内保育所の運営 当院は、看護師をはじめとする多くの女性職員が業務に従事しており、全職員に占める女性の割合が高いことなどから、「女性の職場生活における活躍の推進」を特に図っていく必要がある。 このことから、働きやすい職場環境の提供を目的として、平成20年4月に病院敷地内に保育所「きらら」を開所し、(医師、看護師など男女を問わず)職員の子育てを支援している。 これまでの主な取組として、通常保育以外に職員の夜間勤務に合わせた夜間保育や一時預かり保育を適宜実施しているほか、預け入れ希望者が増加傾向にあったことを踏まえ、平成29年4月に定員を30人から36人(0歳児から3歳児まで)に増やすなど、利便性の向上に努めている。
評価／改善点	・今後も院内保育所の運営により、男女共同参画の推進や職員の子育て支援など、働きやすい職場環境の提供を継続していく。 ・利用者にとってよりよい施設となるよう、運営委員会の開催やアンケート調査などにより関係者から意見・要望を聴取し、これらを踏まえ改善を図っていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	-	-	-	-	・定員は0歳児から3歳児までの合計36人 ・保育時間は午前6時から午後7時まで ・職員の夜間勤務に合わせ、週2日、午後7時から午前6時までの夜間保育を実施するとともに、一時保育も実施。
	成果指標	院内保育所月別平均利用者数	モニタリング指数	18	(通常保育+一時保育)／12月	
4年度	活動指標	-	-	-	-	・定員は0歳児から3歳児までの合計36人 ・保育時間は午前6時から午後7時まで ・職員の夜間勤務に合わせ、週2日、午後7時から午前6時までの夜間保育を実施するとともに、一時保育も実施。
	成果指標	院内保育所月別平均利用者数	モニタリング指数	18	(通常保育+一時保育)／12月	
5年度	活動指標	-	-	-	-	・定員は0歳児から3歳児までの合計36人 ・保育時間は午前6時から午後7時まで ・職員の夜間勤務に合わせ、週2日、午後7時から午前6時までの夜間保育を実施するとともに、一時保育も実施。
	成果指標	院内保育所月別平均利用者数	モニタリング指数	14	(通常保育+一時保育)／12月	
6年度	活動指標	-	-	-	-	・定員は0歳児から3歳児までの合計36人 ・保育時間は午前6時から午後7時まで ・職員の夜間勤務に合わせ、週2日、午後7時から午前6時までの夜間保育を実施するとともに、一時保育も実施。
	成果指標	院内保育所月別平均利用者数	モニタリング指数	13	(通常保育+一時保育)／12月	
7年度	活動指標	-	-	-	-	・定員は0歳児から3歳児までの合計36人 ・保育時間は午前6時から午後7時まで ・職員の夜間勤務に合わせ、週2日、午後7時から午前6時までの夜間保育を実施するとともに、一時保育も実施。
	成果指標	院内保育所月別平均利用者数	モニタリング指数		(通常保育+一時保育)／12月	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	保育所内にコロナを持ち込まないよう細心の注意をはらう。 保育園の休業等により、急ぎ預け先がなくなった子どもに対しても受け入れが出来る体制を整える。
------	---	----	--

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	医事課
担当者(電話)	篠原(924-5100/6212)

基本理念	基本的施策	施策の方針			施策の内容
I	II	2	6	被害者への相談体制の充実と自立支援	DV等暴力、児童虐待を受けていると思われる患者に対して、院内チームで協議し、関係機関と連携しながら対応する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5			

1 事業の目的

DV等の被害者保護と自立支援

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

DV・虐待の防止(女性、子ども等への暴力禁止、被害者支援)

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>DV等暴力、児童虐待の恐れのある患者などに対し、多職種によるCPT(チャイルド・プロテクト・チーム)で協議を行い、病院全体として対応している。</p> <p>●CPT協議開催回数:4回</p> <p>7月5日 医師1名、看護師2名、医療相談員2名 児童</p> <p>10月8日 医師3名、看護師3名、医療相談員5名、事務1名 児童</p> <p>10月21日 医師2名、看護師4名、医療相談員5名 児童</p> <p>11月15日 医師3名、看護師3名、医療相談員6名、事務1名 児童</p>
評価／改善点	<p>痣や骨折など虐待等が疑われる場合、すぐに関係者を集め、最優先事項として取り組んでいる。</p> <p>児童相談所や市町村等の関係機関とも連絡を密にし、情報を幅広く集め検討している。</p> <p>患者や家族との信頼関係を損なわないようにも注意しており、現状で最適に取り組んでいると考えている。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	6	随時／年度	チームに迅速な連絡がくるよう、院内部署に周知を図るとともに、痣や骨折など虐待等が疑われるケースが来院した場合、最優先事項として早急に医師、看護師、医療相談員、事務の関係者を集め、協議を行った。
	成果指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	6	随時／年度	
4年度	活動指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	3	随時／年度	チームに迅速な連絡がくるよう、院内部署に周知を図るとともに、痣や骨折など虐待等が疑われるケースが来院した場合、最優先事項として早急に医師、看護師、医療相談員、事務の関係者を集め、協議を行った。
	成果指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	3	随時／年度	
5年度	活動指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	1	随時／年度	チームに迅速な連絡がくるよう、院内部署に周知を図るとともに、痣や骨折など虐待等が疑われるケースが来院した場合、最優先事項として早急に医師、看護師、医療相談員、事務の関係者を集め、協議を行う。
	成果指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	1	随時／年度	
6年度	活動指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	4	随時／年度	チームに迅速な連絡がくるよう、院内部署に周知を図るとともに、痣や骨折など虐待等が疑われるケースが来院した場合、最優先事項として早急に医師、看護師、医療相談員、事務の関係者を集め、協議を行う。
	成果指標	CPT協議の開催	モニタリング指標	4	随時／年度	
7年度	活動指標	CPT協議の開催	モニタリング指標		随時／年度	同上
	成果指標	CPT協議の開催	モニタリング指標		随時／年度	

5 連携が必要な機関

1	東部児童相談所	国・県
2	各市町家庭児童相談室等	
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	あり	理由	コロナ感染症のステージが上がると院内で多職種が一同に会することが難しくなる。外出自粛やリモートワークにより家庭内の時間が増えているが、現時点でDV等が増えた事実はない。
------	----	----	--

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	危機管理課
担当者(電話)	手島(内線2556)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	9	24	男女のニーズを捉えた防災対策の推進	多様な視点を取り入れた防災計画の策定と防災体制づくりを行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	10	11		

1 事業の目的

事前の防災対策において自助、共助が重要であり、これまでの大災害の教訓を活かして男女双方の視点での取組みを行い、災害発生後も個人や自主防災会の活動により混乱の少ない市民生活を送ることを可能とする。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

・防災における性的マイノリティへの対応の検討。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	男女共同参画の視点を取り入れた防災講座を計画した。 表題:「男女共同参画の視点から考える避難所運営ワークショップ」 開催日:令和7年1月19日(日)14:00~16:45 参加者:24名(うち10名女性) 内容:男女共同参画の視点を取り入れた避難所運営ゲーム(HUG)グループワーク LGBTの災害時の困りごとについて(講話) アンケート
評価／改善点	令和6年は、女性の視点だけでなく男女共同参画の視点について考慮した避難所運営ワークショップを開催した。男性がゲームの進行を務めるグループが多かったが、グループワークが進むにつれ、女性も積極的に意見を出し合う様子が見られた。ほとんどが初参加者であったが、30~80代の参加者のうち、60~70代が全体の5割を占めていたため、次回は子育てサークル等を通じて周知する等、若年層の参加者を取り込むための方法を検討したい。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 女性の視点を取り入れた避難所運営講座の実施	1回/年度	1	1回/年度	・避難所運営会議等で、マニュアル策定へのアドバイスをを行った。(第五地区) ・ボランティアコーディネータ養成講座は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。 ・女性の視点を取り入れた避難所運営訓練の実施。
	成果指標 自主防災会(296組織)における女性役員率(3割)	30.20%	364/2161 16.84%	女性役員/役員総数	
4年度	活動指標 女性の視点を取り入れた避難所運営講座の実施	1回/年度	1	1回/年度	・避難所運営会議等で、マニュアル策定へのアドバイスをを行う。 ・ボランティアコーディネータ養成講座で、男女双方の視点を取り入れたカリキュラムとする。 ・女性の視点を取り入れた避難所運営訓練の実施。
	成果指標 自主防災会(292組織)における女性役員率(3割)	30.20%	754/3232 23.32%	女性役員/役員総数	
5年度	活動指標 女性の視点を取り入れた避難所運営講座の実施	1回/年度	1	1回/年度	・避難所運営会議等で、マニュアル策定へのアドバイスをを行う。 ・ボランティアコーディネータ養成講座で、男女双方の視点を取り入れたカリキュラムとする。 ・男女共同参画の視点から考える避難所運営訓練の実施。
	成果指標 自主防災会(292組織)における女性役員率(3割)	30.20%	891/3567 24.98%	女性役員/役員総数	
6年度	活動指標 女性の視点を取り入れた避難所運営講座の実施	1回/年度	1	1回/年度	・避難所運営会議等で、マニュアル策定へのアドバイスをを行う。 ・ボランティアコーディネータ養成講座で、男女双方の視点を取り入れたカリキュラムとする。 ・女性の視点を取り入れた避難所運営訓練の実施。
	成果指標 自主防災会(292組織)における女性役員率(3割)	30.20%	852/3341 25.50%	女性役員/役員総数	
7年度	活動指標 女性の視点を取り入れた避難所運営講座の実施	1回/年度		1回/年度	・避難所運営会議等で、マニュアル策定へのアドバイスをを行う。 ・ボランティアコーディネータ養成講座で、男女双方の視点を取り入れたカリキュラムとする。 ・女性の視点を取り入れた避難所運営訓練の実施。
	成果指標 自主防災会(292組織)における女性役員率(3割)	30.20%		女性役員/役員総数	

5 連携が必要な機関

1	連合自治会	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	講座の開催については、感染拡大状況により開催方法の変更等の可能性がある。
------	---	----	--------------------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	危機管理課(旧救急警防課分)
担当者(電話)	多田(内線2555)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	9	24	男女のニーズを捉えた防災対策の推進	女性消防団員の活動の充実や、入団を促進するとともに、基本団員数の増加を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	C	B	B	

SDGsのゴール				
5	10	11		

1 事業の目的

・女性が基本団員として活動することにより、市民や被災者側の目線で新たな視点からの活動が期待できる。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

・女性が基本団員として消防団活動を実施するにあたり、女性として可能な活動を確認及び検討する。また女性の基本団員数の増加を図る。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度については、女性の基本団員は令和5年度より1人増え11人になった。 ・団幹部会議等で新入団員の勧誘にあたり、女性基本団員の入団の促進を図るように周知した。 ・自治会や市民から消防団への入団に関する問い合わせがあった際に、男女の性別にかかわらず入団できることを説明した。 ・イベント会場での広報についても、女性消防団員の入団促進リーフレットを積極的に配布を行った。 ・消防団詰所に女性用トイレの整備計画を作成した。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、消防団施設への女性専用スペース確保について、引き続き検討する必要がある。

4 計画期間内の取組内容

年度	指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標 自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る	1回／年度	1回	1回／年度	・自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図った。
	成果指標 消防団員定数(999人)における女性基本団員(1%)	1%	0.7%	女性基本団員／団員定数	・各種イベントにおいて、入団促進を図った。 ・女性が、活動しやすい環境作りについて、消防団幹部と検討を行った。
4年度	活動指標 自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る	1回／年度	1回	1回／年度	・自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る。
	成果指標 消防団員定数(999人)における女性基本団員(1%)	1%	0.7%	女性基本団員／団員定数	・各種イベントにおいて、入団促進を図る。 ・女性が、活動しやすい環境作りについて、消防団幹部と検討を行う。
5年度	活動指標 自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る	1回／年度	1回	1回／年度	・自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る。
	成果指標 消防団員定数(999人)における女性基本団員(1%)	1%	1%	女性基本団員／団員定数	・各種イベントにおいて、入団促進を図る。 ・女性が、活動しやすい環境作りについて、消防団幹部と検討を行う。
6年度	活動指標 自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る	1回／年度	1回／年度	1回／年度	・自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る。
	成果指標 消防団員定数(999人)における女性基本団員(1%)	1%	1%	女性基本団員／団員定数	・各種イベントにおいて、入団促進を図る。 ・女性が、活動しやすい環境作りについて、消防団幹部と検討を行う。
7年度	活動指標 自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る	1回／年度		1回／年度	・自治会役員と消防団幹部と意見交換を行い入団促進を図る。
	成果指標 消防団員定数(999人)における女性基本団員(1%)	1%		女性基本団員／団員定数	・各種イベントにおいて、入団促進を図る。 ・女性が、活動しやすい環境作りについて、消防団幹部と検討を行う。

5 連携が必要な機関

1	連合自治会	自治会
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	広報及び意見交換会等について感染拡大状況により開催方法を変更する可能性がある。
------	---	----	---

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	選挙管理委員会事務局
担当者(電話)	白岩 秀訓(2751)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	7	15	職場での男女共同参画意識の醸成と男女平等の促進	選挙開票事務への女性職員の参画を推進する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	A	A	A	A	

SDGsのゴール				
5	8			

1 事業の目的

各選挙の開票事務について、深夜に及ぶ作業となるため平成27年度まで男性職員のみで従事者を賄ってきたが、従事者数の確保が常に課題となっているため、希望する女性職員の登用により、従事者数の安定確保を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別による固定的な役割分担を反映した慣行の見直しにより、職場における男女共同参画の推進を図る。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	年度内に執行した選挙(静岡県知事選挙及び衆議院議員総選挙)で選挙事務従事予定者調査を実施した。投・開票事務に従事を希望する女性職員を把握し、積極的に従事者として登用した。 〈開票事務女性登用率〉 静岡県知事選挙・衆議院議員総選挙 ⇒ 19.0% (459人中 87人)
評価／改善点	令和6年度に実施した選挙における開票事務女性登用率は18.95%と目標値を上回った。開票事務への女性職員登用についての理解が進んでいると思われる。 開票事務が午後10時以降に及ぶことを考慮し、できる限り職員の負担を軽減することに努めながら、引き続き女性職員の開票事務従事を促進していく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各課への取り組みの周知	2回/年度	3回	各年度に実施する選挙事務従事予定者調査の回数	〈各課への取り組み周知〉年度内に執行した3選挙でそれぞれで選挙事務従事予定者調査を実施した。 〈開票事務女性登用率〉 静岡県知事選挙(6月20日)⇒14.4% 参議院静岡県選出議員補欠選挙(10月24日)⇒15.7% 衆議院議員総選挙(10月31日)⇒24.6% 3選挙全体⇒18.8%
	成果指標	開票事務従事者への女性登用率	11%	18.8%	女性職員数/開票事務従事者数	
4年度	活動指標	各課への取り組みの周知	2回/年度	2回	各年度に実施する選挙事務従事予定者調査の回数	沼津市長選挙⇒【無投票のため開票なし】 参議院議員通常選挙(7月10日)⇒19.8%
	成果指標	開票事務従事者への女性登用率	12%	19.8%	女性職員数/開票事務従事者数	
5年度	活動指標	各課への取り組みの周知	1回/年度	1回	各年度に実施する選挙事務従事予定者調査の回数	〈各課への取り組み周知〉統一地方選として一度にまとめて選挙事務従事予定者調査を実施するため、年度内に執行予定は2選挙であるが、1回/年度とする。 〈開票事務女性登用率〉 統一地方選挙(県議選+市議選 458人 女性81人)⇒目標13%に対し、17.7%
	成果指標	開票事務従事者への女性登用率	13%	17.7%	女性職員数/開票事務従事者数	
6年度	活動指標	各課への取り組みの周知	1回/年度	2回	各年度に実施する選挙事務従事予定者調査の回数	〈各課への取り組み周知〉年度内に執行した2回の選挙で選挙事務従事予定者調べを実施した。 〈女性登用率〉 静岡県知事選挙⇒19.6% 衆議院議員総選挙⇒18.3% 2選挙合計 19.0%
	成果指標	開票事務従事者への女性登用率	14%	19.0%	女性職員数/開票事務従事者数	
7年度	活動指標	各課への取り組みの周知	2回/年度		各年度に実施する選挙事務従事予定者調査の回数	参議院議員通常選挙⇒目標15% 衆議院議員総選挙(任期満了まで解散がなければR7年度に選挙となる)⇒目標15%
	成果指標	開票事務従事者への女性登用率	15%		女性職員数/開票事務従事者数	

5 連携が必要な機関

1	関係各課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	1	2	保育・教育の場での人権尊重に関する教育の充実	児童・生徒に対する人権教育に男女共同参画の視点を取り入れるよう働きかけるとともに、保護者に対する人権尊重の啓発や、教職員へ人権尊重に関する研修を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	16		

1 事業の目的

学校の教育活動全体を通して、児童・生徒がお互いに大切な個人として尊重される人権意識の向上を図る。また、児童・生徒の人権を守ることはもちろんのこと、保護者・教職員が人権尊重の手本となるよう人権感覚を高める。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

児童・生徒がお互いの個性を認め合うことは、そのまま、男女の区別なく一人の人間として尊重し合うことにつながる。学校教育活動全体を通して、個を大切にすることの取り組みを行い人権教育の研修を行うことは、男女共同参画の視点と重なりと考えている。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none">男女共同参画の視点からの職業講話を市内12校で行った。男女平等の意識や人権を尊重する事の大切さを学ぶとともに、性別に関わらず、将来の夢や進路について幅広く選択する学習の機会となった。「中学生人権作文コンテスト」、「子どもの人権SOSミニレター事業」等への積極的な参加を呼びかけた。道徳の授業で、人権についての項目を年間計画に位置づけ、実践している。また、市内全体の人権意識や教育実践の高まりを目的とし、沼教振道徳部における実践報告等による研修会を開催した。教職員研修センター主催で、授業づくり「道徳」に関するかいこう舎講座を開催した。県教委主催の人権教育指導者研修会(オンデマンドでの研修会)に各学校の担当者が参加している。その研修会での資料を、教職員へ配布や回覧し、意識を高めるように努めている。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none">「令和7年度静岡県人権教育の手引き」を用いて、各校において人権教育研修会を実施する。人権尊重や命の大切さを育む教育を、道徳や学級活動、各教科の中で積極的に実践するよう働きかけていく。男女共同参画の視点からの職業講話を地域自治課に依頼できることを、各学校にお知らせする。総合的な学習の時間内でのSDGsの学習を通じて、児童生徒が人権に対する理解を深め、自分が気になる人権侵害や不平等問題等に対して課題の解決策を考える学習をしていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	道徳の授業の実施等による	・一斉授業公開研修の道徳公開授業や沼教振道徳部会における実践報告等による研修の開催。
	成果指標	学校評価の数値	-	-	各校の学校評価の数値による	・教職員研修センター主催で、道徳に関するかいこう舎講座を開催。
4年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	道徳の授業の実施等による	・一斉授業公開研修の道徳公開授業や沼教振道徳部会における実践報告等による研修の開催。
	成果指標	学校評価の数値	-	88%	各校の学校評価の数値による	・教職員研修センター主催で、道徳に関するかいこう舎講座を開催。
5年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	道徳の授業の実施等による	・一斉授業公開研修の道徳公開授業や沼教振道徳部会における実践報告等による研修の開催。
	成果指標	学校評価の数値	-	90.7% (38/38校)	各校の学校評価の数値による	・教職員研修センター主催で、道徳に関するかいこう舎講座を開催。
6年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	道徳の授業の実施等による	・計画訪問において、授業参観や各校の取組みを聞き取り、指導助言をする。
	成果指標	学校評価の数値	-	91%	各校の学校評価の数値による	・人権教育に関する校内研修の実施。
7年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	道徳の授業の実施等による	・道徳の授業において、人権教育に関する内容項目の継続的な実践。
	成果指標	学校評価の数値	-	-	各校の学校評価の数値による	・一斉授業公開研修の道徳公開授業や沼教振道徳部会における実践報告等による研修の開催。

5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	1	3	多様な性のあり方の尊重	小中学校における性教育・性の尊重にかかる副教材を整備するとともに、各学校で、児童・生徒への性教育を行い、性に対する支援体制の確立を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	17		

1 事業の目的

児童・生徒が性に関して適切に理解し、行動することができるよう、学校教育活動全体を通して指導、支援していく体制を整える。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

- ・命の大切さや男女の個人としての尊厳を重んじる内容とした性に関する指導を行う。
- ・普段の教育活動全体を通して、児童・生徒が性に関する不安や悩みを相談できる体制（含、性的マイノリティへの対応）を学校で整える。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領に則り、保健体育や学級活動において、体の成長や性教育について学習している。 ・『こころとからだの教育ガイダンス（性に関する手引き）』が作られており、小学校一年生から段階的に学習している。 ・各校で性に関する相談体制を整え、児童生徒へ丁寧な対応ができるようにしている。性的マイノリティに関する相談を受けた場合、担任・養護教諭・生徒指導主任・学年主任等が情報共有し、児童生徒が安心して学校生活が送れるよう支援している。 ・必要に応じて、心の相談員やスクールカウンセラーのカウンセリングを受けることができるようにした。 ・性的マイノリティに関する児童生徒情報は厳重に取扱い、児童生徒の気持ちを第一優先に考えた上で、職員間で対応している。 ・児童生徒理解を目的に実施する研修会には、養護教諭も参加し、積極的な連携を図っている。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の児童生徒の実態に応じて、性教育について授業で取り扱っている。 ・研修会や会合等で話題提起することで『こころとからだの教育ガイダンス（性に関する手引き）』を授業や校内研修で活用するよう、啓発や意識付けを続ける。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	各校の授業実施による	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じて性に関する指導を行うよう働きかけた。 ・各校、職員の対応についての共通理解を図るよう働き掛けた。 ・性的マイノリティなどに関する人権教育の資料の紹介を行った。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	各校の授業実施による	
4年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	各校の授業実施による	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じて性に関する指導を行うよう働きかけた。 ・各校、職員の対応についての共通理解を図るよう働き掛けた。 ・性の多様性などに関する人権教育の資料の紹介を行った。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	各校の授業実施による	
5年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	各校の授業実施による	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じて性に関する指導を行うよう働きかける。 ・各校、職員の対応についての共通理解を図るよう働き掛ける。 ・性の多様性などに関する人権教育の資料の紹介を行う。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	100% (18/18校)	各校の授業実施による	
6年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	各校の授業実施による	<ul style="list-style-type: none"> ・発達の段階に応じて性に関する指導を行うよう働きかける。 ・各校、職員の対応についての共通理解を図るよう働き掛ける。 ・養護教諭と連携し、性の多様性などに関する資料や、人権教育の資料(ジェンダー等)の紹介を行う。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	各校の授業実施による	
7年度	活動指標	各学校への取組みの周知			各校の授業実施による	
	成果指標	確実な授業の実施による			各校の授業実施による	

5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	2	5	セクハラ・マタハラ、DV等の女性への暴力防止に向けた啓発・防止対策の推進	教育の場でのハラスメントの現状把握を行い、防止に関する啓発を行うとともに相談体制を充実する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	16		

1 事業の目的

- ・教育の場においてセクハラ、マタハラ、DVなどを防止する。
- ・セクハラやDVなどの被害に遭ってしまった、または、それに関する不安を抱える児童・生徒、教職員が安心して相談し助言を得られる支援体制を整える。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

- ・男女の個人としての尊厳を重んじる視点から、教職員のセクハラ等の行為の根絶を目指す。
- ・DV被害者と関わる児童への影響を考慮し関係機関との連携を図る。
- ・デートDVは、児童・生徒も被害者、加害者になりうるため、ジェンダーやDVについて教職員の研修を行う。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none">・各校にセクハラ防止担当教諭を男女1名ずつ配置している。職員会議や研修、打ち合わせ等の際に、情報提供や啓発を行ったり、事例研修等を実施した。また、担当が窓口となり、教職員がセクハラ・パワハラについて相談できるような仕組みになっている。・各校において、教頭先生主催のもと、不祥事根絶研修を定期的に行った。・こども未来創造課(こども家庭センター)と連携し、家庭における状況について心配な情報が入った時には、問題解決に向けて連携して対応している。必要に応じ、静岡県警察本部沼津地区少年サポートセンターや児童相談所とも連携を取っている。・県教委作成のハラスメント防止に関するリーフレットを配布・周知している。・「不祥事根絶ファイル」を沼津市独自で作成し、教職員が個人ファイルを所持して研修に活用している。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none">・「静岡県人権教育の手引き」を活用し、人権教育に関して校内研修を実践・推進していく。・県教委からのリーフレットを活用し、教頭先生やセクハラ防止担当教諭を中心に、ハラスメントに対する啓発を行っていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各校への取組みの周知		-	人事面談の実施率	・各校で、セクハラを含め不祥事根絶についての研修を、内容を工夫して行うよう働き掛けた。 ・生徒指導関係の研修会の紹介、開催により、情報提供した。 児童・生徒について得られた情報を基に、必要に応じて関係機関と協力して対応した。
	成果指標	セクハラ対策委員会の設置率	100%	-	セクハラ対策委員会の設置率	
4年度	活動指標	各校への取組みの周知	-	-	人事面談の実施率	・校内研修として、ハラスメントに関する人権教育研修の実施。 ・生徒指導関係の研修会の紹介、開催により、情報提供した。 児童・生徒について得られた情報を基に、必要に応じて関係機関と協力して対応した。
	成果指標	セクハラ対策委員会の設置率	100%	100%	セクハラ対策委員会の設置率	
5年度	活動指標	各校への取組みの周知	-	-	人事面談の実施率	・各校で、セクハラを含め不祥事根絶についての研修を、内容を工夫して行うよう働き掛ける。 ・生徒指導関係の研修会の紹介、開催により、情報提供していく。児童・生徒について得られた情報を基に、必要に応じて関係機関と協力して対応していく。
	成果指標	セクハラ対策委員会の設置率	100%	100% (18/18校)	セクハラ対策委員会の設置率	
6年度	活動指標	各校への取組みの周知	-	-	人事面談の実施率	・各校で、セクハラを含め不祥事根絶についての研修を、内容を工夫して行うよう働き掛ける。 ・生徒指導関係の研修会の紹介、開催により、情報提供していく。児童・生徒について得られた情報を基に、必要に応じて関係機関と協力して対応した。
	成果指標	セクハラ対策委員会の設置率	100%	100%	セクハラ対策委員会の設置率	
7年度	活動指標	各校への取組みの周知			人事面談の実施率	
	成果指標	セクハラ対策委員会の設置率			セクハラ対策委員会の設置率	

5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
Ⅲ	4	10	市役所・教育の場における女性の積極的登用	小中学校における女性管理職への積極的登用を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	8	16		

- 1 事業の目的

教育の場において、管理職がそれぞれの個性を発揮し学校運営を行っていく。
- 2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別にとらわれず、管理職への推薦、登用を行っていく。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 女性登用についての目標値は、公に示されていない。 静岡県教育委員会から、女性管理職や女性主幹教諭の登用を積極的に行っていくという方針は示されている。 令和7年4月1日現在 市内公立小中学校38校の女性管理職は以下のような人数となっている。 女性校長14人→ 小学校9人 中学校5人 小中一貫校0人 (R6年度 13人：小学校9人 中学校1人 小中一貫校1人) (R5年度 11人：小学校9人 中学校1人 小中一貫校1人) (R4年度 13人：小学校10人 中学校2人 小中一貫校1人) 女性教頭14人→ 小学校11人 中学校2人 小中一貫校1人 (R6年度 17人：小学校13人 中学校4人 小中一貫校0人) (R5年度 17人：小学校8人 中学校7人 小中一貫校2人) (R4年度 11人：小学校4人 中学校5人 小中一貫校2人)
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 概ね、適切な登用ができています。 学校管理職については、管理職試験を受けた男女比率や管理職を希望している男女比率によって数値が大きく変動するため、具体的な数値目標を設定することが難しい。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標					・女性管理職への適切な登用を推進した。
	成果指標	教員管理職の女性登用率	モニタリング指標	-	県教委の公表数値	
4年度	活動指標					・女性管理職への適切な登用を推進した。
	成果指標	教員管理職の女性登用率	モニタリング指標	-	県教委の公表数値	
5年度	活動指標					・女性管理職への適切な登用を推進する。
	成果指標	教員管理職の女性登用率	モニタリング指標	-	県教委の公表数値	
6年度	活動指標					・女性管理職への適切な登用を推進する。
	成果指標	教員管理職の女性登用率	モニタリング指標	-	県教委の公表数値	
7年度	活動指標					
	成果指標	教員管理職の女性登用率	モニタリング指標		県教委の公表数値	

- 5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		
- 6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	7	18	男性の働き方と職場風土の改革	管理職を含め、教職員の勤務時間の現状を見直し、時間外勤務の縮減に向けた環境整備と指導を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	C	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	8		

1 事業の目的

教職員においても、仕事上の責任を果たす一方で、それぞれの地域、家庭において男女共同参画の視点を持ち、連携、協働して活動していくことができるよう、時間外勤務の縮小を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

- ・それぞれ仕事に責任を持ちながらも、男女が対等な立場で支え合い、助け合える職場をつくっていくよう働きかける。
- ・お互いが助け合い、協力しあえる体制や雰囲気作りを大切にしてい、産休、育休、介護などの休暇が男女の区別なく取得できるように働きかける。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で勤務時間管理ソフトを活用し、教職員の勤務時間を把握している。管理職が多忙化軽減に努めている。 ・時間外勤務が多い教職員に対し、悩み相談などの個別対応をとった。また、市の産業医にも依頼し、教職員の希望により、相談を受けてもらえるように依頼した。 ・行事や取組の価値を再検討しながら、時期や方法を精査することで時間外勤務の見直しにもつながった。 ・夏季休業中に、市内一斉閉庁日を設けることで、すべての教職員が休暇を取れるようにした。教職員が進んで休みやすくなる環境整備や雰囲気づくりに努めた。 ・中学校では部活動ガイドラインにより週末の部活動時間数が制限され、教職員の働き方につながっている。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職を中心に、時間外勤務の縮小へ啓発できた。今後もさらに現在の状況を把握しながら縮小に努めていく。 ・中学校の部活動については、令和6年度より市内統一で、平日の月曜日・木曜日（2日間）を休養日、部活動終了時間を午後5時までとすることで、教職員の働き方の改善につなげる。 ・部活動指導員の配置増加や部活動の地域移行も進め、顧問の負担軽減を図っていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各校への取組みの周知	2回	2回	年間2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙化解消のため、学校の実態に応じた策を講じた。 ・各校で勤務時間管理ソフトを活用し、教職員の勤務時間を把握した。また、時間外勤務が多い教職員に対し、悩み相談などの個別対応をとった。
	成果指標	時間外勤務の減少率	70%	79% (30/38校)	時間外勤務が減少した校数	
4年度	活動指標	各校への取組みの周知	2回	2回	年間2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙化解消のため、学校の実態に応じた策を講じた。 ・各校で勤務時間管理ソフトを活用し、教職員の勤務時間を把握した。また、時間外勤務が多い教職員に対し、悩み相談などの個別対応をとった。
	成果指標	時間外勤務の減少率	70%	44% (17/38校)	時間外勤務が減少した校数	
5年度	活動指標	各校への取組みの周知	2回	2回	年間2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙化解消のため、学校の実態に応じた策を講じる。 ・各校で勤務時間管理ソフトを活用し、教職員の勤務時間を把握する。また、時間外勤務が多い教職員に対し、悩み相談などの個別対応をとる。
	成果指標	時間外勤務の減少率	75%	73% (29/38校)	時間外勤務が減少した校数	
6年度	活動指標	各校への取組みの周知	2回	2回	年間2回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の多忙化解消のため、学校の実態に応じた策を講じるとともに、各校で勤務時間管理ソフトを活用し、教職員の勤務時間を把握した。 ・時間外勤務が多い教職員に対し、悩み相談などの個別対応をとり、校務が1人に偏らない工夫をした。
	成果指標	時間外勤務の減少率	75%	60.5% (23/38校)	時間外勤務が減少した校数	
7年度	活動指標	各校への取組みの周知				
	成果指標	時間外勤務の減少率				

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	19	教育・保育の場での男女共同参画意識の醸成	教職員・保育士等への男女共同参画に関する研修や講座を企画する機関への情報提供等により、研修会等の開催を促すとともに開催支援を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
5	16			

1 事業の目的

教職員が男女共同参画の意識を高め、児童・生徒に対する指導、支援に生かし、職場や家庭、地域においてお互いが協力し合い生活したりする。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

研修が実際の学校生活や家庭生活に生かされるようにする。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 市内学校へ「学校における男女共同参画研修」等の研修会を周知した。 県教委主催の研修「人権教育指導者研修会（オンデマンドでの研修会）」に、各校の担当者が参加した。その研修会での資料を教職員に配布したり、校内研修等で内容を報告して全教職員の人権意識を高めるように努めている。 教職員組合が主催する研修会で、組合の女性部が中心となって「男女共同参画」に関する発表を行い、各学校へ実践事例集を配布している。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 県教委主催の研修「人権教育指導者研修会」の内容や「令和7年度静岡県人権教育の手引き」を活用した校内研修の実施を啓発する。 男女共同参画に関する研修や講座、企画する機関への情報提供を継続する。 校内研修の中で「学校における男女共同参画」に関する事例も取り上げていくことで、教職員の人権意識を高めていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	研修会報告の実施率	70%	100%	実施した学校数	・教職員・保育士等への男女共同参画に関する研修や講座を企画する機関への情報提供。
	成果指標	研修会報告の実施率	70%	100%	実施した学校数	
4年度	活動指標	研修会報告の実施率	80%	100%	実施した学校数	・「人権教育指導者研修会」の内容を教職員へ周知。 ・「令和4年度静岡県人権教育の手引き」を活用した校内研修の実施。
	成果指標	研修会報告の実施率	80%	100%	実施した学校数	
5年度	活動指標	研修会報告の実施率	80%	100%	実施した学校数	・「人権教育指導者研修会」の内容を教職員へ周知する。 ・「令和5年度静岡県人権教育の手引き」を活用した校内研修を実施する。
	成果指標	研修会報告の実施率	80%	100%	実施した学校数	
6年度	活動指標	研修会報告の実施率	90%	100%	実施した学校数	・「人権教育指導者研修会」の内容を教職員へ周知。 ・「令和6年度静岡県人権教育の手引き」を活用した校内研修の実施する。 ・教職員組合の女性部が中心となって「男女共同参画」に関する発表を行い、各学校へ実践事例集を配布する。
	成果指標	研修会報告の実施率	90%	100%	実施した学校数	
7年度	活動指標	研修会報告の実施率			実施した学校数	
	成果指標	研修会報告の実施率			実施した学校数	

5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える
------	----	----	---------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	19	教育・保育の場での男女共同参画意識の醸成	各校における総合学習や道徳の時間を利用した男女共同参画に係る学習を実施するとともに、授業参観や学級・学年懇談等の際の保護者への啓発を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	C	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5			

1 事業の目的

児童・生徒の男女共同参画意識を育成することにより、将来職場や家庭、地域で互いに協力し合って生活する態度を育てるとともに、保護者の男女共同参画意識を高める。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

- ・性や年齢などに関わらず意識的に能力を発揮できることを実際働く人たちから学ぶ。
- ・学校教育活動における男女共同参画に関わる取組へ保護者が直にふれることができるようにする。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各校で、男女共同参画意識を育む内容の道徳や学級活動、教科の授業を実施した。 ・技術・家庭科の男女共修により、家族の一員としての役割や扱いの難しい工具等を活用した授業にも取り組んでいる。総合的な学習では、男性保育士や女性消防士などを招いて、男女共同参画の視点からの職業講話を取り入れた。 ・学校では、ジェンダーに関する意識が高まっている。例えば、名簿順や教室での席順、並び順なども全て男女混合である。呼名する際は、「〇〇さん」と呼び合うようにし、互いを大切にすることを意識している。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・各校の実態や地域の特性を生かし、学校教育活動における男女共同参画に関する取組みを継続して行っていく。 ・人権に関する掲示物の作成や児童会・生徒会活動での実践を通して、子供たちや教職員の人権意識の高揚に努めていく。 ・学校で実施した取組を保護者へ周知するような工夫を考えたい。 ・「ここからたの教育ガイダンス（性に関する手引き）」を授業や校内研修で活用していく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	授業の実施等による	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における男女共同参画を意識した授業の実践を働きかけた。 ・男女共同参画に関わる資料を配付した。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	授業の実施等による	
4年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	授業の実施等による	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における男女共同参画を意識した授業の実践を働きかけ、各校でそれに関わる授業を実践した。 ・男女共同参画に関わる資料を配付した。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	授業の実施等による	
5年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	授業の実施等による	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における男女共同参画を意識した授業の実践を働きかける。 ・男女共同参画に関わる資料を配付する。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	授業の実施等による	
6年度	活動指標	各学校への取組みの周知	-	-	授業の実施等による	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における男女共同参画を意識した授業の実践を働きかけた。 ・男女共同参画に関わる資料を配付した。 ・人権に関する掲示物の作成や活動の実践を通して、人権意識の高揚に努めていく。
	成果指標	確実な授業の実施による	-	-	授業の実施等による	
7年度	活動指標	各学校への取組みの周知			授業の実施等による	
	成果指標	確実な授業の実施による			授業の実施等による	

5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	19	教育・保育の場での男女共同参画意識の醸成	学校教育の場において保育体験・介護体験などの生活体験学習を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	C	C	B	B	
実績	C	C	B	B	

SDGsのゴール				
3	4	5		

1 事業の目的

児童・生徒の体験的な学習の充実を図り、児童生徒が自分の未来を主体的にデザインする力を育む。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性や年齢などに関わらず意識的に能力を発揮できる仕事に就き、自立した生活、仕事と生活の調和がとれた豊かな生活が送れるように職業体験、介護体験など各種体験活動を行うよう学校へ情報提供をしていく。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの学校において、総合的な学習の時間等を活用し地域の幼稚園、保育所、福祉施設等と協働しながら保育体験学習や介護体験学習を行っている。 職場体験・介護体験等、各種体験学習について、紹介及び情報提供をした。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 市内の小中学校で、車イス体験やアイマスク体験、点字体験などの福祉体験を実施した。 市内の中学校では、職場体験を実施した。 市内小中学校が防災学習やお茶の手揉み体験、思春期講座などの学習を実施した。 C S (コミュニティ・スクール)を生かし、地域の力や資源も活用したい。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	各学校への取組みの周知	80%	100% (38/38校)	体験学習を位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における福祉体験の実施。 中学校における職場体験活動や保育体験の実施。 キャリア・パスポートの活用。
	成果指標	体験活動実施率	80%	8% (3/38校)	実施した学校数	
4年度	活動指標	各学校への取組みの周知	90%	100% (38/38校)	体験学習を位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における福祉体験の実施。 中学校における職場体験活動や保育体験の実施。 キャリア・パスポートの活用。
	成果指標	体験活動実施率	90%	32% (12/38校)	実施した学校数	
5年度	活動指標	各学校への取組みの周知	100%	100% (38/38校)	体験学習を位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における福祉体験の実施。 中学校における職場体験活動や保育体験の実施。 キャリア・パスポートの活用。
	成果指標	体験活動実施率	100%	100% (38/38校)	実施した学校数	
6年度	活動指標	各学校への取組みの周知	100%	100% (38/38校)	体験学習を位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校における福祉体験の実施。 中学校における職場体験活動や保育体験の実施。 キャリア・パスポートの活用。
	成果指標	体験活動実施率	100%	100% (38/38校)	実施した学校数	
7年度	活動指標	各学校への取組みの周知			体験学習を位置づけている学校数	
	成果指標	体験活動実施率			実施した学校数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	学校教育課
担当者(電話)	内田 恵理(2786)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	20	多様な選択を可能にするキャリア教育の推進	児童・生徒に対し、性別にかかわらず個性にあった多様なキャリアを選択できる進路・就職指導を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	C	C	B	B	
実績	C	C	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	16		

1 事業の目的

教職員も男女共同参画意識を高め、児童・生徒に対する指導、支援の中に生かす。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

研修が実際の学校生活に生かされるようにする。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> 沼津版キャリア教育指針「沼津大志学習プラン」をもとに、沼津市全小中学校の教育課程に「沼津大志学習」を位置づけ、9年間に渡り継続的な学びができるようにしている。中学生においては、沼津市内の事業所や団体等の協力の下、様々な人と交流を深めるために職場体験活動をするなど、将来に向けて性別にとらわれない自分らしい生き方を実現できるような教育活動を実施している。 多くの学校で実施されている地域の幼稚園と小・中学校との年間を通じた交流活動、地域の老人介護施設や福祉施設との交流などを計画し、各校のホームページや学校便りに掲載し、家庭や地域への積極的な発信を行っている。 各校で、異年齢集団による遊びや学習が取り入れられ、性別や年齢にかかわらず人と接する機会や活動する機会が設けられている。このような取組により、人との関わり方や自己有用感を実感し、進んで人と関わろうという態度が養われている。 「福祉のお仕事 魅力発見セミナー」などの通知を行い、実際の体験活動に積極的な参加ができるよう呼びかけている。
評価／改善点	<ul style="list-style-type: none"> 多くの学校で職業体験や各種体験学習を実施できた。 各校における実践の積み重ねにより、性別にとらわれずに職業を選択したり、人と関わったりする意識を高めていく。 キャリア・パスポートを活用し、継続したキャリア教育を実践し、高校へ繋げていく。 「沼津市大志学習」をもとに、教職員へキャリア教育の知識と情報を提供するとともに、具体的な実践例を示していく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	「沼津大志プラン」を教育課程に位置づけた学校数	100%	100%	位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 沼津市のキャリア教育指針に基づいた教育活動の実施 キャリア・パスポートの活用。 中学校における職場体験活動の実施。
	成果指標	中学校における職場体験活動実施率	80%	0%	実施した学校数	
4年度	活動指標	「沼津大志プラン」を教育課程に位置づけた学校数	100%	100%	位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 沼津市のキャリア教育指針に基づいた教育活動の実施 キャリア・パスポートの活用。 中学校における職場体験活動の実施。
	成果指標	中学校における職場体験活動実施率	90%	33% (6/18校)	実施した学校数	
5年度	活動指標	「沼津大志プラン」を教育課程に位置づけた学校数	100%	100%	位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 沼津市のキャリア教育指針に基づいた教育活動の実施 キャリア・パスポートの活用。 中学校における職場体験活動の実施。
	成果指標	中学校における職場体験活動実施率	100%	89% (16/18校)	実施した学校数	
6年度	活動指標	「沼津大志プラン」を教育課程に位置づけた学校数	100%	100%	位置づけている学校数	<ul style="list-style-type: none"> 沼津市のキャリア教育指針に基づいた教育活動の実施 キャリア・パスポートの活用。 中学校における職場体験活動の実施。 「沼津市大志学習」をもとに、教職員へキャリア教育の知識と情報を提供。
	成果指標	中学校における職場体験活動実施率	100%	100%	実施した学校数	
7年度	活動指標	「沼津大志プラン」を教育課程に位置づけた学校数			位置づけている学校数	
	成果指標	中学校における職場体験活動実施率			実施した学校数	

5 連携が必要な機関

1	各小中学校	
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	直接的な影響はないと考える。
------	----	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	教職員研修センター
担当者(電話)	青木 崇人 (951-3425/5361)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	1	2	教育・保育の場での人権尊重に関する教育の充実	教職員の人権感覚を高めるため、教職員対象の各種研修の機会に、子供一人一人を大切に授業づくり、学級経営等についての指導を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5			

1 事業の目的

教職員の人権感覚を高めるとともに、人権に対する正しい理解を深める。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

研修受講者の性別のみにとらわれず、受講者の個性、分掌等を考慮して、研修や個別支援を計画・実施する。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員(2～5年目)及び任期付教員等の個別訪問研修を実施(130件) ・若手教員集合研修会を実施(対面) 回数:4回(市内小中学校2年目～5年目教員74人参加 代替研修2人) 内容:一人一人を大切に授業づくり、学級経営について、講話・グループワーク ・中堅教員研修(個別訪問・集合研修) 回数:個別訪問15件 集合研修4回 内容:学校運営、若手育成等について、講話・グループワーク ・育休等からの復帰者の個別訪問を実施(8件) 内容:復帰する教職員の支援、子供一人一人を大切にする意識を高めることを目的とした講話や資料の提供 ・管理職を対象とした研修会を実施(個別訪問・集合研修) 回数:個別訪問0件 集合研修5回 ※個別訪問形式での実施希望がなかったことによる。 内容:組織づくり、キャリアステージに応じた人材育成に関すること等について、講話・グループワーク
	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員研修や任期付教員等研修では、肯定的な子供理解、一人一人を大切に授業づくり、子供との関わり方や集団づくり等について具体的に助言した。研修会後のアンケートから、肯定的な子供理解に努め、一人一人を大切に、個に寄り添った支援をしようとする意識の高まりが感じられ、教職員の人権感覚を高める機会となった。 ・中堅教員研修会では、様々な分野の講話を聞き、ミドルリーダーとしての自覚を高めることができた。若手対象の講話を行った際、子供を大切に学級経営について話しており、一人一人を大切にすることが意識されていることが分かった。 ・復帰者の個別訪問では、育児と仕事の両立について話し合った。復帰者が安心して勤務できるよう支援できる機会となった。 ・管理職を対象とした研修では、身分や職責、学校経営や学校運営について講話を行うことにより、管理職が自校教職員の個性や分掌等を考慮して組織づくりを行う意識を高めることができた。 ・集合研修会や個別訪問研修で教職員に寄り添い、個に合った支援をしていくことで、教職員が人権に対する理解を一層深め、子供を大切にする人権感覚をより高めるようにしていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	若手教員研修の実施	3回/年度	4回/年度	回数/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員対象の研修会及び個別訪問での指導 ・各種研修会における人権教育、児童生徒への適切な対応についての指導
	成果指標	参加者アンケート回答 満足度	80%	77.6%	「満足」と回答した割合	
4年度	活動指標	若手教員研修の実施	3回/年度	4回/年度	回数/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の研修会及び個別訪問での指導 ・各種研修会における人権教育、児童生徒への適切な対応についての指導
	成果指標	参加者アンケート回答 満足度	80%	83.8%	「満足」と回答した割合	
5年度	活動指標	若手教員研修の実施	3回/年度	4回/年度	回数/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の研修会及び個別訪問での指導 ・各種研修会における人権教育、児童生徒への適切な対応についての指導
	成果指標	参加者アンケート回答 満足度	80%	82.9%	「満足」と回答した割合	
6年度	活動指標	若手教員研修の実施	3回/年度	4回/年度	回数/年度	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員の研修会及び個別訪問での指導 ・各種研修会における人権教育、児童生徒への適切な対応についての指導
	成果指標	参加者アンケート回答 満足度	80%	83.5%	「満足」と回答した割合	
7年度	活動指標	若手教員研修の実施	3回/年度		回数/年度	〃
	成果指標	参加者アンケート回答 満足度	80%		「満足」と回答した割合	

5 連携が必要な機関

1	学校教育課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	感染拡大状況により、集合研修が中止になる可能性がある。
------	---	----	-----------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	文化振興課
担当者(電話)	高木久美子(2791)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	3	7	生涯にわたる健康づくりや生きがいづくりへの支援	博物館等において、女性活躍の歴史や活動を紹介するなど多様な視点から展示を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5			

1 事業の目的

文化振興課所管施設で行っている様々な展示や企画を、女性の視点を取り入れた内容とすることで、生涯にわたる生きがいづくりを支援する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

それぞれの施設において、多くの方々が興味を抱くよう、女性が残した足跡や功績などに焦点をあてた常設・企画展示を行っていく。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<ul style="list-style-type: none"> ■若山牧水記念館 短歌講座や書道講座など、年齢性別問わず楽しめる企画展を開催した。 ■庄司美術館 「山口源大賞新人賞受賞作品展」を開催するなど、年齢性別問わず楽しめる企画展を開催した。 ■芹沢光治良記念館 企画展「沼津ゆかりの文学者たち」では、文学バスツアーなど関連企画を実施するとともに、大型商業施設をはじめ市内各所においてミニ出張展示を行い、誰もが参加したり見学したりできるような企画を実施した。 ■歴史民俗資料館 常設展の生活用具コーナーでは、台所、居間、囲炉裏端、井戸端などの生活の場面を復元し、かつての女性が担っていた家事を紹介した。また、小学生対象の生活体験では、当時性別によって分業がはっきりしていた当時の生活を生活用具の使用体験を通じて、男女共同参画への理解を深めるための取り組みを実施した。 ■明治史料館 性別年齢問わず地域の歴史を学ぶことができる企画展「地域の歴史シリーズ」を開催した。 ■戸田造船郷土資料博物館 江戸時代に作られ沼津藩水野家に伝えられてきた「大名びな展」を開催した。
評価／改善点	令和6年度は、歴史民俗資料館開館50周年記念特別展「れきみんのおたから 指定文化財から秘蔵資料まで大公開!」、「石器とくらし ―愛鷹・箱根西麓の旧石器文化とその周辺―」など、それぞれの博物館等において年齢や性別を問わず誰もが楽しめる企画展等を開催し、また小学生を対象とした昔の生活体験や夏休み親子体験教室を実施した。実施校数は、目標値に届かなかったが、多くの小学生が昔の道具を使用した生活体験を実施した。 今後とも来館者数の増加や満足度の向上のために、年齢や性別にとらわれず、誰もが楽しめる展示に取り組んでいく。

4

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	学校を対象とした生活体験(歴民)	13	9	実施校数	小学校3年生対象の生活体験を9校(184人)に実施した。明治史料館において、東京オリンピック開催に向けた企画展「マエヘススめ!沼津の体育・スポーツ史」を実施し、女性アスリートにもスポットを当てて紹介した。
	成果指標	企画展開催時の来館者(明治)	1.3%	0.88%	開催時の平均入館者数/開催時以外の平均入館者数	
4年度	活動指標	学校を対象とした生活体験(歴民)	13	15	実施校数	歴史民俗資料館において小学校3年生対象の生活体験(かつての生活用具の体験)を15校(623人)に実施した。
	成果指標	企画展開催時の来館者(明治)	1.3%	1.38%	開催時の平均入館者数/開催時以外の平均入館者数	
5年度	活動指標	学校を対象とした生活体験(歴民)	14	15	実施校数	学校を対象とした生活体験は15校(632人)に実施した。市制100周年を記念し、年齢性別問わず誰もが楽しめる絵葉書展などの企画展を実施した。
	成果指標	企画展開催時の来館者(明治)	1.4%	1.50%	開催時の平均入館者数/開催時以外の平均入館者数	
6年度	活動指標	学校を対象とした生活体験(歴民)	14	12	実施校数	学校を対象とした生活体験は12校(467人)に実施した。
	成果指標	企画展開催時の来館者(明治)	1.4%	1.35%	開催時の平均入館者数/開催時以外の平均入館者数	
7年度	活動指標	学校を対象とした生活体験(歴民)	15		実施校数	記念館や博物館での企画展の実施 常設展示の展示内容の見直し及び検討
	成果指標	企画展開催時の来館者(明治)	1.5%		開催時の平均入館者数/開催時以外の平均入館者数	

5 連携が必要な機関

1	沼津牧水会	NPO等
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	学校を対象とした生活探検は密接環境となるため避けられる
------	---	----	-----------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	生涯学習課
担当者(電話)	重田(内線:2863)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	3	7	生涯にわたる健康づくりや生きがいづくりへの支援	市民の生きがいづくりのための学習機会の提供や、誰もが参加できるイベントなどを開催する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	10	11	

1 事業の目的

生きがいをもって豊かな人生を送るために欠くことのできない生涯学習活動を、各種講座の開設や学習成果発表の場の提供を通じて支援する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別に関係なく、誰もが生涯学習に取り組める環境を整える。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>○「市民大学」を開設した。 全9回開催(7月6日(土)、7月21日(日)、8月11日(日)、9月6日(金)、9月21日(土)、10月11日(金)、10月26日(土)、11月16日(土)、11月30日(土))受講者数 延べ1,414名</p> <p>○家庭教育講座「自信がもてる子育て講座」を開設した。 全8回開催(5月31日(金)、6月7日(金)、6月14日(金)、9月6日(金)、9月13日(金)、10月31日(木)、11月7日(木)、11月14日(木))受講者数 延べ276名</p> <p>○生涯学習発表会「さんさん学習フェスティバル」を開催した。 令和6年11月23日(土)～令和6年11月24日(日) 応募団体・個人数 全51件 354名</p>
評価／改善点	<p>著名な講師による講演会(市民大学)、家庭の教育力を目的とした講座(家庭教育講座)、学習成果発表の場の提供(さんさん学習フェスティバル)など様々な形で市民の生涯学習活動を支援することができた。</p> <p>多くの市民が生涯学習活動をしているが、その内容や、これから取り組みたいと希望している活動の種類は多様化している。市民の多様なニーズに適切に応えるために、そのニーズを的確に把握し、学習の情報や機会を充実していくことが今後の課題である。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	開催回数	20回	12回	各事業の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(4回) 受講者数 1,055名(延べ) ・自信がもてる子育て講座(6回) 受講者数 241名(延べ) ・さんさん学習フェスティバル(2日間) 参加者数 240名
	成果指標	参加者数	3,300人	1,536人	各事業への参加者数	
4年度	活動指標	開催回数	20回	22回	各事業の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(9回) 受講者数 2,036名(延べ) ・自信がもてる子育て講座(11回) 受講者数 221名(延べ) ・さんさん学習フェスティバル(2日間) 参加者数 344名
	成果指標	参加者数	3,600人	2,601人	各事業への参加者数	
5年度	活動指標	開催回数	20回	20回	各事業の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(9回) 受講者数 1,732名(延べ) ・自信がもてる子育て講座(9回) 受講者数 224名(延べ) ・さんさん学習フェスティバル(2日間) 参加者数 359名
	成果指標	参加者数	3,900人	2,315人	各事業への参加者数	
6年度	活動指標	開催回数	20回	19回	各事業の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> ・市民大学(9回) 受講者数1,414名(延べ) ・自信がもてる子育て講座(8回) 受講者数276名(延べ) ・さんさん学習フェスティバル(2日間) 参加者数354名
	成果指標	参加者数	4,200人	2,044人	各事業への参加者数	
7年度	活動指標	開催回数	23回		各事業の開催回数	【実施予定】 <ul style="list-style-type: none"> ・市民大学の開設(全9回) ・自信がもてる子育て講座の開設(全12回) ・さんさん学習フェスティバルの開催(2日間)
	成果指標	参加者数	5,000人		各事業への参加者数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	平常時と比べ規模の縮小は避けられず、開催回数や参加者数の減少が懸念される。
------	---	----	---------------------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	生涯学習課
担当者(電話)	重田(内線:2863)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	3	8	高齢者・障害のある人等の社会参加支援	生涯学習の場として高齢者が気軽に参加できる講座・イベントを開催する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	10		

1 事業の目的

高齢者が、生きがいのある明るく健康な市民生活を送ると同時に、学んだことや知恵や技術を次の世代に伝えていくことをねらいとしている。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

高齢者学級では、性別・年齢に関係なく皆が主体的に生涯学習に励んでいる。また、学級委員長等役員においても、男性だけでなく多くの女性が活躍している。今後も高齢化は進行が見込まれているが、性別・年齢に関係なく、楽しく学習できる場・活躍できる場を展開していく。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	学級生の学習ニーズに応じた学級運営を行い、高齢者の生きがいのある明るく健康的な生活や学習意欲の継続に寄与した。新規入学者を確保するため、チラシ配布のほか、SNSを活用したPRに注力した結果、新規入学者数が昨年度に比べて7名増加した。
評価／改善点	☆新規入学者数が増加した一方、学級生が減少傾向にあるため、楽しい雰囲気づくりに努め、継続性を高めていくほか、事業周知による新規入学者の更なる確保に努めていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	開催回数	各学級 月1回開催	各学級 年5回開催	講座の開催回数	・万年青大学の開催(5学級) 実施回数 25回(5学級×5回) ・寿大学の開催(16学級) 実施回数 75回(11学級×5回、5学級×4回) ・各学級年間開催数 100回÷21学級≒5回
	成果指標	講座生数	1,300人	1,278人	高齢者学級の 講座生数	
4年度	活動指標	開催回数	各学級 月1回開催	各学級 月1回開催	講座の開催回数	・万年青大学の開催(5学級) 実施回数 60回(5学級×12回) ・寿大学の開催(16学級) 実施回数 190回(14学級×12回、2学級×11回) ・各学級年間開催数 250回(計画どおり開催)
	成果指標	講座生数	1,400人	1,031人	高齢者学級の 講座生数	
5年度	活動指標	開催回数	各学級 月1回開催	各学級 月1回開催	講座の開催回数	・万年青大学の開催(5学級) 実施回数 60回(5学級×12回) ・寿大学の開催(16学級) 実施回数 186回 (12学級×12回、2学級×11回、2学級×10回) ・各学級年間開催数 246回
	成果指標	講座生数	1,500人	907人	高齢者学級の 講座生数	
6年度	活動指標	開催回数	各学級 月1回開催	各学級 月1回開催	講座の開催回数	・万年青大学の開催(5学級) 実施回数 54回(4学級×11回、4学級×10回) ・寿大学の開催(16学級) 実施回数 171回 (12学級×11回、3学級×10回、1学級×9回) ・各学級年間開催数 225回
	成果指標	講座生数	1,600人	838人	高齢者学級の 講座生数	
7年度	活動指標	開催回数	各学級 月1回開催		講座の開催回数	【実施予定】 ・万年青大学の開催(5学級) ・寿大学の開催(16学級)
	成果指標	講座生数	1,750人		高齢者学級の 講座生数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナウイルス以降の課題

懸念事項	有	理由	免疫力の弱い高齢者が講座生であるため、感染防止のための対策を講じなければならないことが懸念される。
------	---	----	---

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	生涯学習課
担当者(電話)	重田(内線:2863)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	19	教育・保育の場での男女共同参画意識の醸成	男女の偏りを含むPTA活動の現状を調査し、男女の偏りのない役員登用と活動への参画を促す。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	10		

1 事業の目的

児童生徒の健全な育成を目的とする沼津市PTA連絡協議会の活動を支援する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女の偏りのないPTA役員登用を促す。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	・沼津市PTA連絡協議会の運営に対する補助金を交付し年間事業運営の円滑化を図った。
評価／改善点	PTA役員の選出について、各校ともに成り手不足が問題となっており、男女関係なく意欲のある方や資質がある方が役員になっているのが現状である。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	団体への周知	2回	2回	回数	PTA役員の選出については、性差のみによるものでなく、本人のやる気や資質等による登用を促進した。 【実績値】 全単位PTA会長:37名 うち男性:26名 女性:11名 女性が占める割合:29.7%
	成果指標	全単位PTA会長のうち女性が占める割合	25.0%	29.7%	女性役員/PTA役員	
4年度	活動指標	団体への周知	2回	2回	回数	PTA役員の選出については、性差のみによるものでなく、本人のやる気や資質等による登用を促進した。 【実績値】 全単位PTA会長:37名 うち男性:31名 女性:6名 女性が占める割合:16.2%
	成果指標	全単位PTA会長のうち女性が占める割合	25.0%	16.2%	女性役員/PTA役員	
5年度	活動指標	団体への周知	2回	2回	回数	PTA役員の選出については、性差のみによるものでなく、本人のやる気や資質等による登用を促進する。 【実績値】 全単位PTA会長:37名 うち男性:26名 女性:11名 女性が占める割合:29.7%
	成果指標	全単位PTA会長のうち女性が占める割合	25.0%	29.7%	女性役員/PTA役員	
6年度	活動指標	団体への周知	2回	2回	回数	PTA役員の選出については、性差のみによるものでなく、本人のやる気や資質等による登用を促進する。 【実績値】 全単位PTA会長:37名 うち男性:26名 女性:16名 女性が占める割合:43.2%
	成果指標	全単位PTA会長のうち女性が占める割合	25.0%	43.2%	女性役員/PTA役員	
7年度	活動指標	団体への周知	2回		回数	PTA役員の選出については、性差のみによるものでなく、本人のやる気や資質等による登用を促進する。
	成果指標	全単位PTA会長のうち女性が占める割合	25.0%		女性役員/PTA役員	

5 連携が必要な機関

1	沼津市PTA連絡協議会	NPO等
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由
------	----	----

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	生涯学習課
担当者(電話)	野田(内2864)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	20	多様な選択を可能にするキャリア教育の推進	青少年健全育成事業を実施し、青少年が男女共同参画を取り上げる機会を提供する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	10		

1 事業の目的

青少年を対象とした各事業を通じて、青少年の健全な育成を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

性別に関わらず、青少年が健やかに成長できるような環境を整える。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>① わたしの主張大会 各中学校の代表者19人(男:3人 女:16人)が、家庭・学校・地域活動・友人・将来のこと、あるいは、自分の思い、考えたことや感銘を受けたことなどを発表した。</p> <p>② 高校生しゃべり場inぬまづ 各高校の代表者12人(男:9人 女:3人)が、「この声、どう届ける?～子ども・若者が主役のまちへ～」をテーマにディスカッションした。</p> <p>③ 二十歳の議会 各中学校区の代表者等19名(男:12人 女:7人)が出席し、市議会本会議場で模擬議会を開催した。3人(男:2人 女:1人)の二十歳の議員が質問し、質問者以外の議員は「わたしにとっての沼津の宝」について発言した。</p>
評価／改善点	<p>・各事業において、多くの女性が参加しており、男女共同参画という視点から目的を達成することができた。</p> <p>・今後も継続的な事業の実施に努める。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	開催回数	3回	3回	各事業の開催回数	①わたしの主張大会 6月12日(土) 文化センター小ホール 傍聴者88人 ②高校生しゃべり場inぬまづ 12月19日(日) 仲見世商店街 傍聴者47人 ③新成人議会 1月9日(日) 市議会本会議場 傍聴者22人
	成果指標	参加者数	370人	157人	各事業への参加者数	
4年度	活動指標	開催回数	3回	3回	各事業の開催回数	①わたしの主張大会 6月11日(土)、文化センター小ホール、傍聴者169人 ②高校生しゃべり場inぬまづ 8月21日(日)、仲見世商店街、傍聴者45人 ③二十歳の議会 1月8日(日)、市議会本会議場、傍聴者31人
	成果指標	参加者数	382人	245人	各事業への参加者数	
5年度	活動指標	開催回数	3回	3回	各事業の開催回数	①わたしの主張大会 6月10日(土)、文化センター小ホール、傍聴者197人 ②高校生しゃべり場inぬまづ 8月19日(土)、ららぽーと沼津、傍聴者130人 ③二十歳の議会 1月7日(日)、市議会本会議場、傍聴者42人
	成果指標	参加者数	395人	369人	各事業への参加者数	
6年度	活動指標	開催回数	3回	3回	各事業の開催回数	①わたしの主張大会 6月8日(土)、文化センター小ホール、傍聴者181人 ②高校生しゃべり場inぬまづ 8月19日(月)、ららぽーと沼津、傍聴者147人 ③二十歳の議会 1月12日(日)、市議会本会議場、傍聴者48人
	成果指標	参加者数	407人	376人	各事業への参加者数	
7年度	活動指標	開催回数	3回		各事業の開催回数	①わたしの主張大会、②高校生しゃべり場inぬまづ、③二十歳の議会を開催し、各世代の男女に意見発表の場を設ける。
	成果指標	参加者数	420人		各事業への参加者数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由	平常時と比べ、規模の縮小や参加者数の減少が懸念される。
------	---	----	-----------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	青少年教育センター
担当者(電話)	勝呂(951-3440)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	20	多様な選択を可能にするキャリア教育の推進	教育相談推進事業において、悩みを抱える児童生徒に対して、家族を含めた問題状況の把握に努めるとともに、性別に関わらず固有の問題に的確に対応するため、相談員の資質向上に努める。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	10		

1 事業の目的

不登校・進路・非行・子育てなどに悩む児童生徒とその保護者の悩みや不安の軽減、児童生徒の将来的な自立を目指した支援を行う。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

悩みを抱える児童生徒に対して、家族を含めた問題状況の把握に努め、性別にとらわれず、その個性と能力に応じた支援を徹底する。また、支援する相談員の資質向上のための研修に積極的に取り組む。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	<p>○スーパーバイズ研修 年間9回実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡大学教育学研究科 准教授 町氏 年3回 ・鷹岡病院 常勤医師 篠原氏 年3回 ・臨床心理士 石井氏 年3回 <p>※スーパーバイズ研修については、予定通り研修を実施した。</p> <p>○ケース会議 年間26回実施</p> <p>○関係機関主催の外部研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要保護児童対策地域協議会児童虐待分科会 年間11回出席
評価／改善点	<p>各種取組の回数は減少したが、内容を精選したことで、予定通り進捗している。</p> <p>スーパーバイズ研修やケース会議においては、悩みを抱える児童生徒の相談事例を取り上げ、性別にとらわれない適切な対応、支援が行われるよう検討を行っている。引き続き、相談員の研修に積極的に取り組む。</p>

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	研修実施回数	12回	11回	スーパーバイズ研修実施回数	・事例検討を中心とした課内研修、関係機関が主催する外部研修会への参加。
	成果指標					・精神科医、大学教授、臨床心理士らによるスーパーバイズ研修の実施。
4年度	活動指標	研修実施回数	12回	9回	スーパーバイズ研修実施回数	・事例検討を中心とした課内研修、関係機関が主催する外部研修会への参加。
	成果指標					・精神科医、大学教授、臨床心理士らによるスーパーバイズ研修の実施。
5年度	活動指標	研修実施回数	12回	9回	スーパーバイズ研修実施回数	・事例検討を中心とした課内研修、関係機関が主催する外部研修会への参加。
	成果指標					・精神科医、大学教授、臨床心理士らによるスーパーバイズ研修の実施。
6年度	活動指標	研修実施回数	12回	9回	スーパーバイズ研修実施回数	・事例検討を中心とした課内研修、関係機関が主催する外部研修会への参加。
	成果指標					・精神科医、大学教授、臨床心理士らによるスーパーバイズ研修の実施。
7年度	活動指標	研修実施回数	12回		スーパーバイズ研修実施回数	・事例検討を中心とした課内研修、関係機関が主催する外部研修会への参加。
	成果指標					・精神科医、大学教授、臨床心理士らによるスーパーバイズ研修の実施。

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	有	理由
		感染拡大防止のためスーパーバイズ研修の中止の可能性があるが、可能な範囲でリモートでの研修に切り替えて対応していく。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	市立図書館
担当者(電話)	宇佐美利香(952-1234)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
I II	1	4	男女共同参画推進のための情報発信・情報提供	男女共同参画やDV防止等に関する図書の紹介コーナーを設置し、市民への情報提供及び啓発を図る。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	A	A	A	A	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
4	5	10		

1 事業の目的

男女共同参画に関する意識の醸成や、環境づくりのための情報提供及び広報活動の充実を図る。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

男女共同参画週間(6月23日～29日)や、DV防止週間(11月12日～25日)に併せ、啓発ポスターの掲示、関連図書のコーナーの設置、目録の作成・配布等を行う。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	男女共同参画週間(6月23日～29日)及びDV防止週間(11/12～25)に併せ、最も目につきやすい1階出入り口付近に啓発ポスターを掲示するとともに、関連図書のコーナーを設置して貸出しを促した。また、関連図書の目録を作成し、配布することで市民への情報提供及び啓発を図った。 12月に、県あざれあ図書室との共催で「LGBTパネル展」を開催し、シールを使ったアンケートを実施した。
評価／改善点	計画どおり取り組むことができ、市民への情報提供及び啓発を行った。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	行事に伴う図書コーナーの設置	1回	2回	展示内容を変更して通年設置	6月の男女共同参画週間や、11月のDV防止週間に併せ、啓発ポスターの掲示、関連図書のコーナーの設置、目録の作成・配布等を行った。
	成果指標	関連書籍の貸出し冊数	1,226冊	1,671冊	R2実績	
4年度	活動指標	行事に伴う図書コーナーの設置	1回	2回	展示内容を変更して通年設置	6月の男女共同参画週間や、11月のDV防止週間に併せ、啓発ポスターの掲示、関連図書のコーナーの設置、目録の作成・配布等を行った。
	成果指標	関連書籍の貸出し冊数	1,700冊	2,293冊	R3実績+29	
5年度	活動指標	行事に伴う図書コーナーの設置	1回	2回	展示内容を変更して通年設置	6月の男女共同参画週間や、11月のDV防止週間に併せ、啓発ポスターの掲示、関連図書のコーナーの設置、目録の作成・配布等を行った。
	成果指標	関連書籍の貸出し冊数	2,300冊	1,723冊	R4実績	
6年度	活動指標	行事に伴う図書コーナーの設置	1回	3回	展示内容を変更して通年設置	6月の男女共同参画週間や、11月のDV防止週間に併せ、啓発ポスターの掲示、関連図書のコーナーの設置、目録の作成・配布等を行った。 12月に「LGBTパネル展」を開催し、「LGBTをわかったか」というアンケートを行った。
	成果指標	関連書籍の貸出し冊数	1,730冊	1,539冊	R6実績	
7年度	活動指標	行事に伴う図書コーナーの設置	2回		展示内容を変更して通年設置	6月の男女共同参画週間や、11月のDV防止週間に併せ、啓発ポスターの掲示、関連図書のコーナーの設置、目録の作成・配布等を行う。
	成果指標	関連書籍の貸出し冊数	1,730冊		R7実績	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	あり	理由
		来館者数が減少しており、収束に向かっても、密を避ける行動は継続される可能性があり、また、人口減少も続くことが予想されるため、常に右肩上がりとはならないことが予想される。

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	市立図書館
担当者(電話)	宇佐美利香(952-1234)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV	V	6	14	家庭における男性活躍と心豊かな暮らしの実現 絵本等の読み聞かせをする男性(読みメン)の普及を図ることで、子どもが父親やおじいさんと一緒に本に親しみ、図書館を利用する機会を増やすとともに、男性が育児参加しやすい環境づくりにつなげる。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	A	B	B	
実績	C	B	A	A	

SDGsのゴール				
4	5			

- 1 事業の目的

女性が職業生活において活躍するためには、男性の育児参画が重要であるため、男性が主体的に育児参画するよう啓発する。
- 2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

絵本等の読み聞かせに関心のある男性を対象にした講座を開催する。
なお、男性に限らず夫婦、家族及び友達同士など誰でも参加可能。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	読み聞かせ等を日頃から行っている講師を招き、対象者を性別等で限定しない「読み聞かせ講座」を開催した。 また、毎月、第2日曜日に男性読み聞かせボランティアによる読みメン・お父さんのお話を開催し、男性の育児参画への啓発に努めた。
評価／改善点	読み聞かせ講座は、今年度から受講者を性別・年齢等で限定しない形で開催し、計画どおり実施することができた。 読みメン・お父さんのおはなし会については、毎月定期的に実施することができた。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	講座参加者数	23	18	R2実績	読みメンを実施している講師を招き、講座をとおして、男性ならではの読み聞かせの方法やコツ、楽しみ方などを学ぶ企画を行った。
	成果指標	参加者アンケートによる満足度	90%	89%	「大変よい」78%、「よい」11%の合計	
4年度	活動指標	講座参加者数	18	15	R3実績	男性舞台俳優を講師に招き、参加者全員で台本読みを行い、人前で読むことや男性が女性パートを読む楽しさを学んだ。
	成果指標	参加者アンケートによる満足度	90%	93%	「大変よい」80%、「よい」13%の合計	
5年度	活動指標	講座参加者数	15	24	R5実績	幅広く喋りの仕事を行っている男性講師を招き、講座を通して男性ならではの読み聞かせの方法やコツ、楽しみ方などを学んだ。
	成果指標	参加者アンケートによる満足度	90%	100%	「大変よい」100%	
6年度	活動指標	講座参加者数	15	34	R6実績	読み聞かせを実施している講師を招き、講座を通して、誰でもできる読み聞かせの方法やコツ、楽しみ方などを学んだ。
	成果指標	参加者アンケートによる満足度	90%	100%	「大変よい」84.4%、「よい」15.6%の合計	
7年度	活動指標	講座参加者数	30		R7実績	同上
	成果指標	参加者アンケートによる満足度	90%			

- 5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		
- 6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	現状では新型コロナの影響はないと考える。
------	---	----	----------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	道路建設課
担当者(電話)	高田(2611)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	9	23	男女共同参画社会に向けた地域環境整備	街路事業や道路新設改良事業等による幹線道路や生活道路を整備し、誰もが安心して利用しやすい、ゆとりある歩行者空間を創出する歩道整備を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
11	12			

1 事業の目的

道路は、通勤、通学、買い物など日常生活に欠かせない都市施設である。誰もが安心して利用できる歩行者空間の整備を目指す。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

幹線道路や生活道路の整備に努め、誰にも優しく利用しやすい交通環境を創出する。ゆとりある歩行者空間の確保やユニバーサルデザインを視点とした歩道整備、電線類の地中化を進める。

3 令和6年度取組状況・実績・評価・課題・改善点

取組状況及び実績	千本香貫山線歩道照明灯設置等 千本香貫山線(春日町地内)に歩道照明灯を設置した。 実施延長 L=198.5m、歩道照明N=11基
評価／改善点	・港大橋西側歩道に照明灯を設置し、安心・安全な歩行空間を創出した。 整備は概ね計画通り進み、令和6年10月に供用開始した。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	歩道整備	L=70m	L=50m	R3工事実施区間	(都)原駅町沖線 原駅前広場 ・スロープ、階段整備済み L=50m
	成果指標	歩道整備完了後の累積延長	L=70m	L=50m	R3工事実施区間	
4年度	活動指標	歩道整備	L=180m	L=180m	R4実施整備区間	(都)原駅町沖線 駅前広場 歩道整備延長 L=180m
	成果指標	歩道整備完了後の累積延長	L=250m	L=250m	R3~R4実施整備区間	
5年度	活動指標	堤防天端照明灯設置	L=488.5m	L=488.5m	R5実施整備区間	狩野川右岸堤防天端照明灯設置等 実施延長 L=488.5m
	成果指標	照明灯整備完了後の累積延長	L=488.5m	L=488.5m	R2~R5実施整備区間	
6年度	活動指標	歩道照明灯設置	L=198.5m	L=198.5m	R6実施整備区間	千本香貫山線歩道照明灯設置等 実施延長 L=198.5m
	成果指標	歩道照明灯の整備延長	L=198.5m	L=198.5m	R6実施整備区間	
7年度	活動指標	歩道照明灯設置	L=186.5m		R7実施整備区間	千本香貫山線歩道照明灯設置等 実施延長 L=186.5m
	成果指標	歩道照明灯の整備延長	L=385m		R6、R7実施整備区間	

5 連携が必要な機関

1	道路管理課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	無	理由	直接的な影響はないと考える。
------	---	----	----------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	道路管理課
担当者(電話)	久保田(2651)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	8	20	多様な選択を可能にするキャリア教育の推進	高校生等に対する土木分野の魅力を発信する講座や現場見学会等を開催する。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	D	B	
実績	B	B	C	B	

SDGsのゴール				
4	5	8		

1 事業の目的

就職活動中の高校生や小中学生を対象に、道路(橋梁)施設の管理業務に関する講座や道路(橋梁)の建設現場・修繕現場等の見学会を開催し、将来の職業選択や進路選択に資する情報提供を目的とする。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

道路や橋梁の現場見学会を開催し、実際に道路(橋梁)設計や工事監督員を行う女性職員から仕事内容を説明することによって、女性の参画が少ない土木分野の魅力を発信する。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	男女共同参画推進事業所の認定を得た建設業者が中学校等で実施する職業講話に併せて、道路管理課職員や土木分野に携わる女性技術職員を派遣し、土木関係の仕事内容や魅力を紹介できるよう体制を整えていたが、学校側から要望がなかったため、未実施となった。
評価／改善点	地域自治課と連携して、学校側に土木建設業に係る職業講話の実施をはたらきかける。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	職業講話・現場見学会の開催	1回以上/年度	1回	開催回数/年度	男女共同参画推進事業所の認定を得た建設業者が中学校等で職業講話を行い、建設業の魅力や女性参画のために事業所が実施している等を紹介した。 併せて、沼津市道路管理課職員や土木分野に携わる女性技術職員から仕事内容について紹介した。(地域自治課と連携の事業)
	成果指標	職業講話等の聴講者数	80人/年度	20人	聴講者数/年度	
4年度	活動指標	職業講話・現場見学会の開催	1回以上/年度	1回	開催回数/年度	男女共同参画推進事業所の認定を得た建設業者が中学校等で職業講話を行い、建設業の魅力や女性参画のために事業所が実施している等を紹介した。 併せて、沼津市道路管理課職員や土木分野に携わる女性技術職員から仕事内容について紹介した。(地域自治課と連携の事業)
	成果指標	職業講話等の聴講者数	80人/年度	125人	聴講者数/年度	
5年度	活動指標	職業講話・現場見学会の開催	1回以上/年度	0	開催回数/年度	実施体制を整えたが、学校側から土木技術者からの職業講話の希望がなかった。
	成果指標	職業講話等の聴講者数	80人/年度	0	聴講者数/年度	
6年度	活動指標	職業講話・現場見学会の開催	1回以上/年度	1回	開催回数/年度	男女共同参画推進事業所の認定を得た建設業者が中学校等で職業講話を行い、建設業の魅力や女性参画のために事業所が実施している等を紹介する予定。 併せて、沼津市道路管理課職員や土木分野に携わる女性技術職員から仕事内容について紹介する予定。(地域自治課と連携の事業)
	成果指標	職業講話等の聴講者数	80人/年度	70人	聴講者数/年度	
7年度	活動指標	職業講話・現場見学会の開催	1回以上/年度		開催回数/年度	男女共同参画推進事業所の認定を得た建設業者が中学校等で職業講話を行い、建設業の魅力や女性参画のために事業所が実施している等を紹介する予定。 併せて、沼津市道路管理課職員や土木分野に携わる女性技術職員から仕事内容について紹介する予定。(地域自治課と連携の事業)
	成果指標	職業講話等の聴講者数	80人/年度		聴講者数/年度	

5 連携が必要な機関

1	地域自治課	庁内
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	3密を避ける対策をとって実施すれば問題はないと思われる。
------	----	----	------------------------------

第5次沼津市男女共同参画基本計画 推進調査票

担当課名	道路管理課
担当者(電話)	久保田(2651)

基本理念	基本的施策	施策の方針		施策の内容
IV V	9	23	男女共同参画社会に向けた地域環境整備	交通安全施設等整備事業による歩行空間のバリアフリー化を行う。

男女共同計画評価	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
取組状況	B	B	B	B	
実績	B	B	B	B	

SDGsのゴール				
3	5	11		

1 事業の目的

道路の段差解消等によるバリアフリー化することにより、子育て支援環境を整備する。

2 特に男女共同参画(女性活躍・DV防止)の視点で取り組むところ

特に妊産婦・乳幼児連れの方及び通学する児童・生徒が利用しやすい段差のない幅の広い歩行空間を整備する。

3 令和6年度取組状況・実績、評価・課題・改善点

取組状況及び実績	令和6年度は大岡地内において、床版設置工事50m実施により、歩行者空間の拡幅を行った。 自治会要望にあわせて現地踏査を行い、4箇所の歩道修繕工事を行った。
評価／改善点	歩道における段差・陥没等現地踏査12箇所すべての修繕を完了した。 今後もバトロール等を通じて、異常箇所の早期発見に努め、安全管理、事故防止に努めていく。

4 計画期間内の取組内容

年度		指標名	目標値	実数値	計算方法	実施済内容/実施予定内容
3年度	活動指標	①歩道の段差解消及び水路蓋掛け 施工延長 ②現地踏査の実施回数	①165m/年度 ②1回/年度	①65m ②1回/年度	①施工延長(m)/年度 ②実施回数/年度	①歩道の段差解消及び水路蓋掛けによる歩行空間の拡幅 ②沼津駅周辺の歩道における段差・陥没等現地踏査(周辺自治会長同行)の実施
	成果指標	②段差・陥没等の解消率	100%	11/11 100%	修繕実施箇所数/現地踏査による要修繕箇所数	
4年度	活動指標	①歩道の段差解消及び水路蓋掛け 施工延長 ②現地踏査の実施回数	①170m/年度 ②1回/年度	①110m ②1回/年度	①施工延長(m)/年度 ②実施回数/年度	①歩道の段差解消及び水路蓋掛けによる歩行空間の拡幅 ②沼津駅周辺の歩道における段差・陥没等現地踏査(周辺自治会長同行)の実施
	成果指標	②段差・陥没等の解消率	100%	4/4 100%	修繕実施箇所数/現地踏査による要修繕箇所数	
5年度	活動指標	①歩道の段差解消及び水路蓋掛け 施工延長 ②現地踏査の実施回数	①100m/年度 ②1回/年度	①50m ②1回/年度	①施工延長(m)/年度 ②実施回数/年度	①歩道の段差解消及び水路蓋掛けによる歩行空間の拡幅(床板工等年間見込み) ②沼津駅周辺の歩道における段差・陥没等現地踏査(周辺自治会長同行)の実施
	成果指標	②段差・陥没等の解消率	100%	12/12 100%	修繕実施箇所数/現地踏査による要修繕箇所数	
6年度	活動指標	①歩道の段差解消及び水路蓋掛け 施工延長 ②現地踏査の実施回数	①100m/年度 ②1回/年度	100	①施工延長(m)/年度 ②実施回数/年度	①歩道の段差解消及び水路蓋掛けによる歩行空間の拡幅(床板工等年間見込み) ②沼津駅周辺の歩道における段差・陥没等現地踏査(周辺自治会長同行)の実施
	成果指標	②段差・陥没等の解消率	100%	6/6 100%	修繕実施箇所数/現地踏査による要修繕箇所数	
7年度	活動指標	①歩道の段差解消及び水路蓋掛け 施工延長 ②現地踏査の実施回数	①100m/年度 ②1回/年度		①施工延長(m)/年度 ②実施回数/年度	①歩道の段差解消及び水路蓋掛けによる歩行空間の拡幅(床板工等年間見込み) ②沼津駅周辺の歩道における段差・陥没等現地踏査(周辺自治会長同行)の実施
	成果指標	②段差・陥没等の解消率	100%		修繕実施箇所数/現地踏査による要修繕箇所数	

5 連携が必要な機関

1		
2		
3		
4		

6 新型コロナ以降の課題

懸念事項	なし	理由	3密を避ける対策をとって実施すれば問題はないと思われる。
------	----	----	------------------------------